

## 令和 6 年度第 2 回総合教育会議資料

## 令和 7 年度に向けた学力向上施策について

学校教育課

## 1 全国学力学習状況調査結果をもとにした協議・懇談会の実施

## (1) 市小中学校長会で協議(9.26)された内容

## ①授業力の向上

- ・若手教員、転入教員の増加…思考発信型の授業スタイルの徹底が必要

## ②学力差が非常に大きい実態

- ・下位生徒への対応、複数のサポート体制が必要

## ③読み取る力、書く力等言葉の力の不足

- ・読書の奨励、学校図書館の活用の推進が必要

## ④あきらめる子、無回答が多い

- ・子どもの良さを認め、子供の主体性・自己肯定感を伸ばす指導が必要

## ⑤学校と家庭の連携

- ・スマホやゲームから離れる時間の確保、学習の定着につながる家庭学習が必要

## (2) 市PTA協議会役員と教育長の懇談会(10.23)で寄せられた意見

## ①先生方の授業改善の努力は伝わってくる。

## ②競争原理の少ない地域性を反映している。

## ③目標を持っている子が少ない、テスト前でものんびりしている。

## ④やりたい気持ちを持たせる等家庭での焚き付け方が大事。家庭教育が重要だ。

## ⑤オーストラリア研修で学ぶ意欲が高まった。体験が意欲につながる。

## ⑥教育委員会と学校と保護者が子どもの学力について話し合う機会は大事だ。

## ⑦PTA・学校・教委の連名で文書配付して啓発しては？

## 2 令和 7 年度に向けて改善すべき課題

課題 1 児童生徒の学力格差への対応

課題 2 授業改善の推進

課題 3 家庭教育力の向上

課題 4 キャリア教育の見直し

## 3 令和 7 年度に向けた学力向上施策

(別紙参照)